



2022年6月7日

各位

会社名 株式会社 中京銀行
代表者名 取締役頭取 小林 秀夫
(コード番号 8530 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 執行役員 瀬林 寿志
総合企画部長
(電話番号 052-249-1613)

(訂正)「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2022年5月11日に公表いたしました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の連結キャッシュ・フロー計算書の当連結会計年度の表示内容に一部誤りがあることが判明したため、関連する箇所の訂正を行うものです。

2. 訂正の内容 (訂正箇所は下線部)

<サマリー情報>

1. 2022年3月期の連結業績 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2022年3月期	百万円 <u>231,238</u>	百万円 <u>28,619</u>	百万円 △1,179	百万円 349,803
2021年3月期	△71,880	91,616	△1,303	91,124

(訂正後)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2022年3月期	百万円 <u>239,315</u>	百万円 <u>20,542</u>	百万円 △1,179	百万円 349,803
2021年3月期	△71,880	91,616	△1,303	91,124

<添付資料 2 ページ>

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(訂正前)

営業活動によるキャッシュ・フローは、日本銀行から新型コロナウイルス感染症対応金融オペレーションによる資金調達を行った結果、借入金が増加したことなどにより 2,312 億 38 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却・償還による収入などにより 286 億 19 百万円の収入となりました。

(略)

(訂正後)

営業活動によるキャッシュ・フローは、日本銀行から新型コロナウイルス感染症対応金融オペレーションによる資金調達を行った結果、借入金が増加したことなどにより 2,393 億 15 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却・償還による収入などにより 205 億 42 百万円の収入となりました。

(略)

<添付資料 10 ページ>

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(略)	
その他の特別損益 (△は益)	—	<u>292</u>
固定資産処分損益 (△は益)	△37	<u>△598</u>
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,230	<u>△7,934</u>
小計	△70,801	<u>232,829</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	△71,880	<u>231,238</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△78,290	<u>△65,350</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	91,616	<u>28,619</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(略)	
その他の特別損益 (△は益)	—	<u>876</u>
固定資産処分損益 (△は益)	△37	<u>△570</u>
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,230	<u>407</u>
小計	△70,801	<u>241,782</u>
割増退職金等の支払額	—	<u>△876</u>
営業活動によるキャッシュ・フロー	△71,880	<u>239,315</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△78,290	<u>△73,427</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	91,616	<u>20,542</u>

以上